緩和ケア部会

全体目標

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率（75歳未満、人口10万人当たり）を平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】
あるべき姿　質の高い緩和ケア医療の提供

中期目標　除痛率の指標を作る
指標　除痛率60%　測定方法

最終目標　除痛率調査方法のベースラインが出来ている
指標　除痛率90%　測定方法

5

ステップ4

施策毎のアウトカム目標

【アウトカム目標 1】 平成25年3月までに、すべての患者が緩和ケアを正しく理解し、治療に参加できる必要な機会にアクセスできる環境を整える

【アウトカム目標2】25年3月までに満足60%
(2) 30年3月末までに90%

【アウトカム目標 3】
30年3月末までに基本的な緩和ケア医療ができる医師が630名増加し、一般的な緩和ケア医療ができる医師が210人増加する

【アウトカム目標 4】
30年までに緩和ケア医療ができる医師以外の医療者が2倍増え、25施設の緩和ケアチームの依頼が5倍に増える

【アウトカム目標 5】25年3月までに看取りを行う施設が2倍に増える

施策毎のアウトプット目標

(1)25年3月までに拠点・支援病院で主治医からの配布率が50%
(2)30年3月末までに配布率100%

参加者2年で500名（二次医療圏ごとに、年に1回開催）

25年3月までに拠点・支援病院と協議会のHPで情報を発信する

25年3月までに宮古と石垣で2回づつ開催

●月●日までに評価アンケートを実施する

平成25年度は支援病院、参加希望施設、拠点病院で調査を開始する。

(4-1)23年9月までに緩和ケア研修会未修了者数調査を修了する 済

25年3月までに一年分のデータ解析をおこない患者さんとのニーズのギャップを明らかにする

(4-2)23年4月から緩和ケア情報シートの分析をおこなう

(1)25年3月までに修了者180名増加
(2) 30年3月末までに630名増加

(1)25年3月までに修了者30名増加
(2) 30年3月末までに180名増加

●年●月までにアンケート調査を行う。

25年3月までに拠点・支援病院の依頼数が30%増える

1年に6回開催 180名修了

？？

施策アクションプラン

(1-1)緩和ケアパンフレット作成 済

(1-2)緩和ケア講演会を定期開催

(1-3)HPの緩和ケア情報を充実させる

石垣と宮古での患者会後援と講演会開催

平成24年度末までに調査方法の構築を計る 済

【施策3】除痛率の確立をはかる 済

【施策1】一般・患者、家族への情報提供を行う

【施策2】患者会への協力

【施策4】緩和ケア現状調査

【施策5】緩和ケア研修会の実施

【施策6】フォローアップ研修会の実施

(7-1)がんリハ理学療法士の人数把握

(7-2)緩和薬物療法薬剤師の人数把握

(7-3)同スキルナースの人数把握

【施策7】コメディカルの増員

県内の緩和ケアチーム活動報告会を作る。

【施策8】2月中に緩和ケアチーム依頼調査

【施策9】看取りを施設で行うための勉強会をおこなう

【施策10】行政セミナーを行う。

ワークシート1で導き出された対策項目

【対策項目 1】
患者さんへの正しい情報提供

【対策項目 2】
より多くの医療関係者への適切な情報提供と教育

【対策項目 3】
チーム医療体制の強化

【対策項目4】
病病：病診連携の強化

【対策項目5】
行政との連携